

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果報告書
(平成24年度対象)**

**平成25年8月
寒川町教育委員会**

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
II	寒川町教育振興基本計画の基本計画	5
III	教育委員会会議（定例会・臨時会）及び 教育委員の活動状況	9
IV	教育委員会の平成24年度重点施策	
	【学校教育】	20
	【生涯学習】	31
V	教育委員会の課題・改善策	63
VI	学識経験者の意見等	69

寒川町教育委員会委員名簿

(平成25年8月1日現在)

委員 長 鈴木 宏 文

委員長職務代理者 木 立 順 一

委 員 寺 本 借 子

委 員 杉 崎 多 恵 子

委 員 (教 育 長) 大 澤 文 雄

Ⅰ 点検・評価制度の概要

1 はじめに

寒川町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たし、よりよい教育を目指すため、平成24年度を対象とした教育委員会の活動を取りまとめ、「寒川町教育振興基本計画」の重点施策の点検と自己評価を行い、その結果に対して教育に関し学識経験を有する方からご意見を頂戴し、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書」（以下「報告書」という。）にまとめました。

また、この報告書は、議会に提出するとともに、あわせて公表をしていきます。

参考・地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

点検・評価の対象範囲は、学校教育、社会教育及びスポーツに関することなど、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務です。

対象事業については、平成24年度分とし、「教育委員会会議（定例会・臨時会）及び教育委員の活動状況」並びに「寒川町教育振興基本計画の前期実施計画（平成24年度～26年度）の各事業のうち、平成24年度重点施策に位置付けた事業」としました。

3 点検・評価の実施方法

教育委員会が行っている事業について、教育委員会が自ら点検・評価（自己評価）を行い、各々の取組み状況とそれに対する課題や改善策などを明らかにするとともに、点検・評価の客観性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する方々（外部評価者）よりさまざまなご意見をいただきました。

外部評価者

氏 名	所 属 等
小 川 雅 子	寒川町 P T A 連絡協議会会長
菊 地 英 昭	前さむかわ国際交流協会会長
間 井 憲 治	元寒川町立南小学校長

(50音順 敬称略)

II 寒川町教育振興基本計画の 基本計画

基本計画 (2) めざす姿 今後9年間の基本目標

I 学校教育

○知(確かな学力)、徳(豊かな心)、体(健やかな体)の調和のとれた生きる力が育まれている。

II 生涯学習

1【乳幼児期】

○あたたかい子育てとしっかりしたしつけができるような家庭教育への支援が行われている。

2【青少年期】

○地域と共に、青少年の健全が図られるように支援が行われている。

3【伸長期】

○夢を求め、自他を尊重しながら生きていく若者の自立へ向けた支援が行われている。

4【充実期】

○自己をみがき、心の世界を広げる壮年への支援が行われている。

5【円熟期】

○シニアの世代が、第二の人生として、地域で活動できるような支援が行われている。

○高齢の方が、仲間と共に楽しみながら生き生きと生活できるような支援が行われている。

基本計画 (3) 基本方針 今後9年間の基本方針

よく学び よく遊び よく生きる

賢く豊かな
自分づくり

健やかな
体づくり

80歳 傘寿

60歳 還暦

40歳 不惑

20歳 成人

15歳

青少年期

6歳

0歳

③知恵を伝え

絆をつなぎ合う
活動への支援

⑨体を動かし

健康を保つ
活動への支援

⑥人間の幅を広げ

交流を図る
活動への支援

⑦地域に根ざした

スポーツ活動への
支援

④チャレンジ精神

自立心を育てるための
環境整備

⑤スポーツに気軽に親しみ

心身の健やかな成長を
促す環境整備

学校教育

知 徳 体と調和のとれた人間形成

①確かな学力を
身につけた
児童生徒の育成

基礎的、基本的な知識や技能を取
得させるとともに、それらを活
用できる力の育成と学びへの意
欲を高めます。

②豊かな情操と
道徳心を備えた
児童生徒の育成

人を思いやる心や感動する心を
育てるとともに、規範意識や公
共の精神を大切にできる教育を
進めます。

③積極的に運動に
取り組み自ら
体力の向上を
めざす児童生徒の育成

規則正しい生活態度を身につけ
る中で運動する習慣を身につけ、
生きる上で基盤になる体づくり
を進めます。

安全な学校施設を創出して学べる学校環境の整備

個別の支援を必要とする子どもへの体制の整備

【乳幼児期】

- 育児や子育てに関する情報の提供、相談や学習のできる機会の充実
- 経済的負担の軽減により私立幼稚園等への就園を奨励

子育てに困るしほの提供

Ⅲ 教育委員会会議（定例会・臨時会） 及び教育委員の活動状況

1 平成24年度教育委員会会議（定例会・臨時会）の開催状況

教育委員会の会議は毎月原則20日に開催される定例会と必要に応じ開催される臨時会があり、次のとおり開催し審議を行いました。

（平成24年4月～平成25年3月）

開催日	区分	議事等
(平成24年) 4月20日	定例会	議案1 平成24年度重点施策について 協議1 平成24年度教育委員会委員の活動について 報告1 平成24年度児童生徒数、学級編制について 2 (仮称)寒川町中央公民館建設検討委員会設置要綱の廃止について 3 さむかわふれあい塾の実施状況について 4 寒川町文化財学習センター利用者状況について
5月21日	定例会	議案1 寒川町奨学金貸与条例の一部改正について 協議1 寒川町スポーツ推進計画(案)のパブリックコメント実施結果について 報告1 寒川町私立幼稚園等就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
6月20日	定例会	議案1 寒川町スポーツ推進計画について 2 寒川町奨学金貸与条例施行規則の一部改正について 3 平成25年度使用寒川町立小学校・中学校教科用図書の採択について 協議1 町内教育施設視察(第1回)について 報告1 寒川町私立幼稚園等就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について 2 寒川町学校給食あり方検討委員会設置要綱について 3 さむかわ町民大学等の事業報告について 4 総合図書館所蔵資料点数について
7月20日	定例会	議案 案件なし 協議1 いじめ問題について 報告1 専決処分の報告について 2 町議会第2回定例会(6月会議)の一般質問等について 3 行政組織等の見直しについて 4 図書館のサテライト化について

開催日	区分	議 事 等
8月20日	定例会	議案 1 寒川総合図書館条例の一部改正について 2 平成24年度寒川町一般会計補正予算(9月)について 協議 1 町内教育施設視察(第2回)について 報告 1 行政組織等の見直しについて 2 平成25年度予算について 3 平成23年度寒川総合図書館広域利用・相互貸借の状況について
9月20日	定例会	議案 1 寒川町教育委員会委員長の選任について 2 平成25年度教育関係費当初予算について 3 寒川総合図書館管理運営規則及び寒川町立公民館の使用、管理及び組織に関する規則の一部改正について 協議 案件なし 報告 1 専決処分の報告について 2 町議会第2回定例会(9月会議)の一般質問等について 3 寒川町立公民館図書室運営要綱の廃止について 4 町営プールの利用状況について
10月19日	定例会	議案 案件なし 協議 1 寒川町行政機構図及び事務分掌(素案)に対する意見について
11月 1日	第1回臨時会	議案 1 寒川町教育委員会教育長の任命について 2 平成24年度寒川町一般会計予算(12月)について
11月14日	第2回臨時会	議案 1 寒川町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について 2 寒川町立公民館条例の一部改正について
11月20日	定例会	議案 1 平成25年度(平成24年度末)寒川町立小中学校県費負担教職員の人事異動基本方針について 2 寒川町奨学金貸与条例の一部改正について 協議 1 葉山町教育委員会委員との懇談会について 報告 1 平成24年度の外部評価委員会による評価結果に対する町の方針について 2 給食食材の放射能検査結果について 3 児童相談所の一時預かりについて

開催日	区分	議 事 等
11月30日	第3回臨時会	議案1 寒川町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例に関する意見聴取について
12月20日	定例会	議案1 寒川町奨学金貸与条例施行規則の一部改正について 2 寒川町立公民館の使用、管理及び組織に関する規則の一部改正について 3 平成24年度寒川町教育委員会表彰被表彰者について 協議 案件なし 報告1 町議会第2回定例会（12月会議）の一般質問等について 2 学校警察連携制度の締結について 3 小谷小学校のお米の放射線量の測定結果について
(平成25年) 1月18日	定例会	議案1 平成24年度寒川町一般会計補正予算（3月）について 協議1 町内教育施設視察（第3回）について 報告1 寒川町教育委員会公印規程の一部改正について 2 教職員の人事について
2月20日	定例会	議案1 平成25年度寒川町一般会計予算（教育に関する部分）について 協議 案件なし 報告1 専決処分の報告について 2 専決処分の報告について 3 インフルエンザ等による学級閉鎖状況について
3月19日	定例会	議案1 公文書公開請求に対する決定について 2 寒川町教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部改正について 3 寒川町青少年指導員設置規則等の廃止について 4 寒川町スポーツ推進委員に関する規則等の廃止について 5 県費負担教職員管理職の人事について 協議1 平成25年度重点施策について 2 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

開催日	区分	議 事 等
		協議 3 平成 2 5 年度の教育委員会委員の活動について 報告 1 平成 2 5 年度の組織の見直しに伴う規程・要綱の改廃について 2 寒川町奨学生の選考結果について 3 平成 2 4 年度児童生徒進路状況について

毎月の定例会終了後に、教育委員会報告として教育委員及び事務局職員より前回以降の活動状況や翌月定例会までの予定等の報告及び意見交換を行っております。

なお、上記の定例会報告の中に一部教育委員会報告の内容が含まれております。

＜教育委員会定例会・臨時会における審議案件の件数＞

(平成24年4月～平成25年3月)

審議案件	議案	協議	報告
①教育に関する事務の管理及び執行の基本的方針	0	1	1
②教育委員会規則の制定及び改廃	8	0	0
③教育予算その他議会の議決を経るべき事件についての意見申し出	10	0	4
④人事に関する事	4	0	1
⑤法令又は条例の定めのある附属機関の委員の委嘱	0	0	0
⑥教科書の採択に関する事	1	0	0
⑦新たな計画に関する事	1	1	0
⑧表彰に関する事	1	0	0
⑨教育財産の取得申し出	0	0	0
⑩文化財の指定及びその解除	0	0	0
⑪その他	2	9	30
合 計	27	11	36

2 教育委員の活動

教育委員は、定例会以外に小・中学校への学校訪問や各種教育委員会主催行事及び研修会等に参加しており、活動は次のとおりです。

(平成24年4月～平成25年3月まで)

活 動 日	内 容
4月 2日	教育委員会辞令交付式
5日	小・中学校入学式
8日	観桜駅伝競走大会
9日	一之宮小学校長退任式
12日	教育委員会第1回調査研究会「平成24年度重点施策について」
16日	神奈川県市町村教育委員会連合会第1回役員会・総会(小田原市)
5月12日	寒川町PTA大会・PTA連絡協議会総会
18日	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会(埼玉県川口市)
21日	教育委員会第2回①調査研究会「平成24年度町立小・中学校の学校経営方針について」 教育懇談会
23日	教職員研修会①
24日	教育委員会第2回②調査研究会「平成24年度町立小・中学校の学校経営方針について」
6月 8日	教育委員会第3回調査研究会「第2回調査研究会を終えて」
16日	子どもまつり
20日	教育施設視察①(一之宮小学校、寒川東中学校、旭が丘中学校、旭小学校)
7月23日	教育委員会第4回調査研究会「新採用教員との意見交換会」 教育施設視察②(町営プール)
26日	教職員研修会③
28日	夏休み子どもフェスティバル
31日	補充学習の状況視察(寒川東中学校)
8月 4日	寒川子どもサイエンスフェスティバル
7日	教育委員会第5回調査研究会「行政組織等の見直しについて」
8日	教職員研修会④
30日	補充学習の状況視察(寒川小学校、寒川東中学校)
9月 2日	レクリエーションフェスティバル
3日	旭が丘中学校文化部発表会 寒川東中学校授業参観・文化活動発表会
20日	町長へ平成25年度教育関係当初予算の要望
22日	中学校体育祭

活 動 日	内 容
9月22日 29日	文化講演会 小学校運動会
10月 8日 13日	2012さむかわスポーツデイ 第43回寒川町文化祭式典 ヤング・ダンス・フェスタ
11月 1日 2日 8日 10日 11日 13日 16日 20日 29日	寒川町表彰式 神奈川県市町村教育委員会連合会研修会（横須賀市） 寒川町PTA連絡協議会教育懇談会及び歴代理事懇親会 交通安全・防犯町民総ぐるみ大会 武道フェスティバル 旭小学校研究発表会 葉山町教育委員会委員との懇談会 教育懇談会 小谷小学校餅つき
12月 5日 10日 25日	学校訪問（寒川中学校） 茅ヶ崎市立梅田小学校国語研究授業 観点別学習評価の研修会（南小学校）
1月 4日 9日 10日 11日 14日 19日 30日 31日	寒川町賀詞交歓会 教育委員会第6回①調査研究会「各校の学校経営方針についての中間報告」（学力向上への取り組み） 教育委員会第6回②調査研究会「各校の学校経営方針についての中間報告」（学力向上への取り組み） 教育施設視察③（寒川中学校百人一首大会、寒川小学校外トイレ） 成人式 子ども議会 教育講演会 教育委員会第7回調査研究会「教育委員会の点検・評価について」
2月 1日 8日 20日 23日 25日 26日	教育委員会表彰式 教育委員会第8回調査研究会「教育委員会の点検・評価について」 町長との懇談会 公民館まつり式典 教育委員会第9回調査研究会「社会教育の今後の方針について」 教育研究員研究発表会

活 動 日	内 容
3月 8日	中学校卒業式
14日	教育委員会第10回調査研究会「学校における通知票の処理について」
19日	小学校卒業式
29日	辞令交付式

上記のほかに、教育委員会を代表して委員を選出している次の審議会等に出席しています。

- ・寒川町総合計画審議会
- ・寒川町民生委員推薦会
- ・寒川町青少年問題協議会
- ・寒川町まちづくり推進会議
- ・さむかわ男女共同参画プラン推進協議会

次に、以上のような活動を通して特に感じたことを何点か述べたいと思います。

- 5月21日、24日、調査研究会を開催して小学校・中学校の校長・教頭から本年度の学校経営方針についての説明を受けました。昨年度の学校評価を踏まえた本年度の学校教育目標及び重点目標の説明、また本年度「重点施策」に対する学校経営方針等の説明を受け、質疑応答を通して各校の本年度の方針を把握することができました。現場の状況を理解する良い機会となりました。
- 7月23日、新採用教員との意見交換会を行いました。「学級経営」と「教科指導」をテーマに、課題と取り組みについて、新採用教員、教育委員及び指導主事によるグループで話し合いました。共に考え、指導助言を行い、新採用教員の指導力の向上を図るという目的を達成することができました。今後の成長が期待できる新採用教員でした。
- 8月4日、本年度から始まった事業として「寒川子どもサイエンスフェスティバル」を町民センターで開催いたしました。開始時間前から多くの子どもたち、保護者があふれており、その関心の高さが伺えました。
町民センターホールでは「サイエンスコンサート」と題して、ピアノとのコラボで、会場と一体となり振動と音の不思議な響きを体感することができ、「ブースメニュー」では、富士フィルム神奈川工場等地域企業、大学、高等学校の科学部、寒川町立中学校の理科部のブースがあり、子どもたちにとっては科学の面白さをその道のプロから直接体感できる貴重な機会となりました。
県の全面的なバックアップのもとで開催された事業ですが、科学というものに関

心を持ついいきっかけとなり、また、地域の方々と触れ合う機会ともなり、見る側、説明する側双方とも多くの感動が得られた非常に良いイベントであると感じました。

- 11月16日、県内他市町村教育委員会との懇談会として、葉山町教育委員会との懇談会を開催しました。「教育環境をとりまく諸問題」として、特に「いじめ」について、意見交換を行いました。寒川町のいじめに関する資料「いじめの指導と学級・学校づくり」について、葉山町教育委員会の委員の方々が感心され、大変参考となったとのことをご意見を頂きました。

また、「住民に見える教育委員会」として、葉山町教育委員会では町のホームページ、広報紙等で情報を発信することで、教育委員の活動を知ってもらうことができる等ご意見をいただき、大いに参考になりました。

- 1月11日、町内教育施設の視察として寒川中学校と寒川小学校を訪問しました。寒川中学校では百人一首大会を見学しました。学年を超えて1つの行事に取り組むことで親睦を深め、一体感を高めることを目的として、毎年行われている行事ですが、生徒も全員が意欲的に取り組んでいて、積極性、協調性、生徒同士の友達関係の向上にも繋がり、目的が達成されていると感じました。

寒川小学校では改修された外トイレを視察しました。センスのいい、すばらしいトイレに改修されていて、運動会等行事の際には、保護者、来校者等多くの方々に喜ばれると思いました。寒川小学校の体育館が避難所になった時には、トイレが非常に重要な場所になってくると思われるので、トイレ改修を重要課題として取り組んできた成果だと感じました。

- 1月14日、大雪のなか、寒川町民センターホールで成人式を開催しました。

開催にあたって新成人の代表で組織する成人式実行委員会を数回開催し、記念式典を自ら企画・運営することで「祝ってもらう」から「自ら祝う」式へ転換し、自立と共生を学ぶ機会となっています。特に恩師からのビデオレターは好評で、同年代の企画による成人式を楽しんでいる様子が伺えました。

残念なことに、式典では私語が多く、社会人としての自覚が足りない部分も見られましたが、悪天候のなかでも出席率が高く、出席者も旧友や先生との再会を喜び、社会人としての門出を祝福する式となりました。

- 2月20日、町長へ平成25年度教育関係当初予算について意見を申し出ました。平成25年度からの組織の見直しにより、さらなる学校教育の充実と社会教育の振興のために、教育費における教育委員会が所管する予算の確保について要望いたしました。

IV 教育委員会の平成24年度 重点施策

学校教育

基本方針1 確かな学力を身につけた児童・生徒の育成（賢く豊かな自分づくり）

～基礎的・基本的な知識や技能を習得させるとともに、
それらを活用できる力の育成と学びへの意欲を高めます～

基本方針2 豊かな情操と道徳心を備えた児童・生徒の育成（賢く豊かな自分づくり）

～人を思いやる心や感動する心を育てるとともに、
規範意識や公共の精神を大切にできる人づくりを進めます～

基本方針3 積極的に運動に取り組み、自ら体力の向上をめざす児童・生徒の育成

（健やかな体づくり）
～規則正しい生活態度を身につける中で運動する習慣を身につけ、
生きる上で、基盤になる体づくりを進めます～



◇安全な学校施設、安心して学べる学校環境の整備

◇個別な支援を必要とする子どもへの体制の整備

平成24年度の重点施策

- 1 児童・生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図ります。
 - ・小学校3年生で35人以下学級編成を実施
 - ・学力向上補助教材の有効活用
 - ・休み時間・放課後や長期休業中に補充学習を実施
 - ・寒川町基礎力定着度確認問題による学力の把握と補充指導の実施
 - ・知育、徳育、体育における「地域のせんせい」の有効活用
 - ・寒川学びっ子育成推進事業の効果的な展開による教員の指導力の向上
 - ・家庭学習啓発資料の各家庭への配付による好ましい生活習慣の育成と家庭学習の習慣化（宿題、自主的な学習）

1. 児童・生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図ります。

＜35人以下学級編成＞

平成24年度は、小学校1・2年生に加えて、町独自の少人数学級実施事業により、3年生についても35人以下学級を編成することができました。少人数学級の実施は、指導者のきめ細かい学習指導の実現にとって大きな助力となるものであり、これが3年生まで拡大された効果は大きく、児童の生活習慣・学習習慣の定着が図られ、基礎的な学力の定着につながっています。

＜学力向上補助教材＞

平成24年度は、小学校に学力向上補助教材が予算化され、観点別評価を生かした形成的評価や総括的評価を有効に行う上で、有力なツールとして広く活用することができました。教員の指導力も高まり、継続して有効に活用していくことで児童の学力向上に結びつくことが期待できます。

＜補充学習・地域のせんせい＞

今年度から、授業の中で学習目標に到達できなかった児童・生徒を中心とした放課後や長期休業中の補充学習が、各小・中学校において本格的にスタートしました。学校ごとに取り組み方法の創意工夫がなされ、あらたに開始された地域のせんせいふれあい推進事業による高校生、大学生、教員OB、社会人にも多く加わって頂き、個々の児童・生徒の状況に応じた指導・支援が有効に展開されました。なかでも鎌倉彫の授業や社会人に聞く会などで、地域の方にゲストティーチャーになっていただき、地域の方のもっている技能・経験に触れることができたことは、児童・生徒にとって生きる力を身につけていく上で貴重な経験となりました。「地域のせんせい」が講師に入った授業等の充実度に関する児童・生徒に対する年度末アンケート調査によると、小学校77%、中学校78%が「充実した」と回答していることからわかるように、児童・生徒にとって、この事業がたいへん有意義であったことがわかります。

初年度の課題としては、学校間で地域のせんせい活用状況に多少差が見られたことが挙げられます。今後も情報連携を緊密にしつつ、各学校の特色を出した「地域のせんせい」の活用を、人材の発掘・派遣の面からも支援し一層の充実を図ってまいります。

＜指導力の向上＞

教師の資質向上に関しては、町教育委員会主催の教職員研修会（4回）の参加者数は243人で、昨年度比+56人であると共に、事後アンケートの内容からも、充実した研修が展開されたと言えます。また、昨年度からスタートした寒川学びっ子育成推進事業の展開により、各小・中学校の校内授業研究会や講演会は講師に最先端の大学研究者等を招聘し充実が図られ、また学校の枠を超えた多くの先生方の参加も促進されました。若い教員の公開授業も増え、互いに刺激し合う場面も増えました。今後とも、寒川町の規模を生かした各学校の研究交流を重視して教員の指導力の向上を図ってまいります。

また、町教育研究員研究会では、「観点別評価」「地域のせんせい」「不登校」「基礎力定着度確認問題（理科）の作成」に1年間をかけて取り組み、2月26日に研究発表会にて成果の発表を行いました。参加者の評価によると、96%の参加者が「充実した内容であった」と回答していることからわかるように、各研究部会共に、充実した内容の研究であったと言えます。今後、研究の成果を日々の実践に生かすことができるようにしてまいります。

<好ましい生活習慣の育成、家庭学習の習慣化>

平成23年度町研究員研究会の成果物であるリーフレットを全ての児童・生徒へ配付し、家庭での生活習慣と学習習慣の確立を目指しました。また、学校独自に作成した啓発資料を配付したり、意図的に宿題を毎日出すようになりました。

しかしながら、平成24年度末の児童・生徒へのアンケート調査によると、基本的な学習習慣・生活習慣が定着していると回答した割合は、小学校60%、中学校45%であり、特に中学生においては依然として、不規則な生活習慣が目立ち、家庭学習も十分には行われてはいない現状にあります。引き続き、学校と家庭の連携を強めることができるよう取り組むと共に、授業との関連をもたせた宿題や自由学習など宿題の出し方の工夫、やる気を起こさせる即時評価の実践等を通して、粘り強く指導してまいります。

<基礎学力の定着についての考察>

以上のように重点化された取り組みにより、数値として現れた学力の面から分析できる成果と課題について、平成23年度末より小・中学校全学年で実施された基礎力定着度確認問題の正答状況から考察します。小学校算数・中学校数学の基礎力定着度確認問題は、平成23年度末・平成24年度末に実施していますので、2年間の経年変化を見ることができます。小・中学校の国語につきましては、平成24年度末のみの正答状況からの考察となります。

小学校算数

まず、小学校算数についてですが、学年別の概況としては、小学校1・2・3・6年生では、内容別でも大きな課題は見受けられません。平成23年度と平成24年度では、0.8～3ポイントの伸びではありますが、80%を超える正答率をあげることができました。

また、小学校4・5年生では、抽象的な内容が増えることもあり、平成23年度は学年別正答率が、58%・60%と課題が指摘されていましたが、平成24年度では、65%（+7ポイント）・72%（+12ポイント）と、大きな伸びを見せました。問題別に見ても、特に4年生の四捨五入の問題（69%→82%）や5年生の最小公倍数（39%→61%）など、課題としてあげられていた問題の正答率に大きな伸びがありました。

これらの小学校算数の正答率の増加は、通常授業における各教師の意識改革が進んだことや、少人数授業の取り組み、日々の補習の取り組みや夏季休業中の補充学習、家庭学習への支援等の成果であると考えられます。

比べる数や百分率、図形や求積などに課題が残るとともに、学年により、差異があるものの、平成23年度から平成24年度にかけて、小学校1～6年生すべての学年で正答率の伸びが見られました。今後も地道にこの取り組みを続けていくことで、さらに基礎学力向上への数値的な伸びが期待できると考えられます。

中学校数学

次に、中学校数学についてですが、平成23年度からの経年変化では、学年平均正答率が、1年生で59%→62%、2年生で61%→58%、3年生で66%→66%となっており、ほぼ前年度並みの正答率となっています。問題別に見ますと、中学校1年生で平成23年度正答率が40%以下であった、扇形の弧の長さ・面積（29%→41%・29%→45%）、球の求積（25%→51%）、相対度数を求める（19%→36%）など、課題としてあげられていた問題の正答率に大きな伸びがありました。ただし、2年生と3年生については、ほぼすべての問題について前年度同様の正答率という結果になりました。

中学校の場合、特定の内容に偏しての課題は見られませんが、全体として目標としている70%に到達できていません。継続的に基礎力定着へ向けての取り組み、並びに学校・家庭での学習において質・量の両面での課題が考えられます。

算数・数学について、全体として、確かな基礎学力の定着にあたっては、以下の点が必要とされます。平成23年度から平成24年度にかけての小学校での正答率の伸びが、小学校・中学校の一貫した取り組みの中で、中学校にも数値として波及していくことが期待されます。このため、以下の観点から取り組みを強化していきます。

- ・観点別評価の正確な理解と指導と評価の具体についての実践的な研究を進める。
- ・小学校では、3年生以上での学習指導において、必要に応じて少人数授業を実施すると共に、診断的な評価の実施、小単元レベルでの達成度の確認、基準に達していない児童への個別支援をはじめとした学習指導上の創意工夫を図る。
- ・単元間はもちろんのこと、学年を越えてもスパイラルな指導を状況に応じて実施する。
- ・単にドリル的な反復練習に終始するだけでなく、思考力・判断力・表現力等を育む活用場面においても、基礎・基本を意識する場面を意図的に挿入すると共に、児童・生徒の意欲を引き出す授業づくりを創造する。

小学校国語

一方、平成24年度末からは、国語についても基礎力定着度確認問題を実施しました。

まず、小学校国語についてですが、学年別の概況としては、1・2年生が約90%の高正答率となりました。3～6年生においては、71%～81%の正答率となっていますが、こちらも高正答率となりました。

1年生時には90%を超える正答率ではありますが、2年生以降で漢字の読み書きでの正答率が次第に下がり、3年生以降で送り仮名や原稿用紙の使い方、4年生以降で慣用句、5年生以降で熟語や漢字の使い分けについての問題で正答率が次第に下がっていく傾向が見られました。

これらの結果から、小学校別・学年別の傾向はあるものの、授業実践研究を中心に、漢字の読み書きの定着へ向けての日々の積み重ねや、読書指導等の語彙を増やす取り組み、慣用句の習得への取り組みを行っていく必要があります。

中学校国語

次に、中学校国語についてですが、学年別の正答率が、52%・56%・55%と、3学年とも50～60%の範囲内になっています。全体として目標としている70%に到達できていません。

中学校でも、小学校に引き続き、漢字の読み書きや、対義語類義語・熟語の意味などの語彙の習得について、定着へ向けての課題があげられます。特に、ほとんどの生徒が書くことができなかつた漢字（中学校2年：「継承」…8%、「名簿」…3%）があることは大きな課題です。

同様に、表現技法の知識の不定着があげられます。慣用句や故事成語・ことわざについても小学校から一貫しての取り組みが必要です。また、俳句や敬語についても、中学校以降で出題されていますが、小学校から扱う内容であり、小学校からの一貫した指導が必要であります。

国語について、全体として、確かな基礎学力の定着にあたっては、以下の観点から取り組みを強化していきます。

- ・観点別評価の正確な理解と指導と評価の具体についての実践的な研究を進める。
- ・小学校1年生から段階的に、読書指導をはじめ語彙の習得への取り組みを行う。
- ・漢字や熟語など、定着へ向けての反復練習・日々の使用等、家庭・学校が一体となった取り組みを行う。
- ・未定着であった基礎的・基本的事項については、補充的な学習等を適切に実施し、定着を図る。
- ・課題解決能力・コミュニケーション能力の向上へ向けて、その基礎となる読解力の向上の

ために、意図的な指導・授業実践を行う。

＜今後の取り組みの方向性＞

以上、平成23年度から平成24年度の比較の中では、取り組みの成果が部分的にはありますが、着実に見られている事実があり、継続した取り組みによる平成25年度の成果が期待されることです。今後2～3年間は基礎力定着度確認問題の実施により、経年変化を確認し指導を振り返ると共に、弱点を共有して授業改善を図ってまいります。「思考力」「判断力」「表現力」等の育成については、各校の校内研究を中心に取り組んでまいります。その後、現在の基礎力定着度確認問題の改訂作業を通して、基礎力の定着を目指す問題だけではなく、活用力を図る問題の実施につなげ、学力の向上を目指します。

寒川では、自ら学ぶ子を育てていきます。児童・生徒が日頃の生活の中で疑問に思ったことを、自ら解決できる力を身につけさせることを目指します。大人になって社会に出たときに、世の中でやっていけるようになることが基本目標です。そのために、必要な学力をつけさせることは私たちの使命であります。基礎力定着度確認問題での正答率を見る限りでは徐々にではありますが成果が見られてきています。一方で数字にこだわりつつも、最も大切な学力の要素である「学習意欲」を育む学校教育を展開することも忘れずに大切にしていきます。

取り組んだ主要事業

事業名	少人数学級実施事業
担当課等	学校教育課
事業概要	小学校3年生で35人以下学級編成を実施し、個に応じたきめ細かな指導を展開します。
成果指標	基本的な生活習慣・基礎的な学力の定着率
目標値	90%
成果実績	基礎力定着度確認問題小学校3年生の定着率 国語75.8% 算数79.8%
成果と課題 今後の取組等	4小学校で町独自の少人数学級を編成することで、町内全小学校で3年生までは35人以下学級編成となり、落ち着いた学習環境を整えることができ、きめ細かな生活指導・学習指導を展開することができました。 少人数学級編成は保護者にも好評であり、今後も継続してまいります。

事業名	「生きる力」の育成事業						
担当課等	学校教育課						
事業概要	基礎学力の定着度を検証し、補充学習等を実施します。						
成果指標	基礎力定着度確認問題の正答率						
目標値	70%						
成果実績	(小学校)						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	国語	91.7	85.5	75.8	80.8	76.7	70.5
	算数	86.9	85.5	79.8	65.3	71.6	81.0
	(中学校)						
		1年	2年	3年			
国語	52.0	56.0	55.3				
数学	62.1	58.0	65.6				
成果と課題 今後の取組等	<p>普段の休み時間・放課後を利用した個別の補充学習や夏季休業中の補充学習を全小中学校で実施しました。参加した児童・生徒・保護者からは一定の評価を得ることができました。課題としては夏季休業中の補充学習は初めての取り組みであったので、実施方法・内容など若干学校間の格差が見られました。また、中学校では部活動の時間との重複が補充学習実施の妨げとなっています。今後も各学校の特色を生かし、粘り強く個に応じた指導をしてまいります。</p>						

事業名	「生きる力」の育成事業					
担当課等	学校教育課					
事業概要	「地域のせんせい」を講師にした授業や総合的な学習の充実を図るとともに、「地域のせんせい」を活用して授業及び補充学習においてきめ細かな指導を展開します。					
成果指標	アンケートによる児童・生徒・保護者の満足度					
目標値	70%					
成果実績	小学校77% 中学校78%					
成果と課題 今後の取組等	<p>小学校では116人（延べ556人）中学校では123人（延べ529人）の方に「地域のせんせい」として活動していただきました。児童・生徒アンケートによると、授業での「地域のせんせい」の援助は、理解が深まり役に立ったと好評価でした。課題としては、補充学習や部活動での活用が多く、地域の方のもっている技能・経験などに基づくゲストティーチャータ的な活用が少なかった点が挙げられます。今後、「地域のせんせい」への事前講習を充実させ、この事業の趣旨や守秘義務などについて周知を図ってまいります。</p>					

事業名	「生きる力」の育成事業
担当課等	学校教育課
事業概要	家庭との連携をとり、基本的な生活習慣・学習習慣の定着を図ります。
成果指標	基本的な生活習慣・学習習慣の定着率
目標値	70%
成果実績	小学校60% 中学校45%
成果と課題 今後の取組等	<p>平成23年度町研究員研究会の成果物であるリーフレットを全児童・生徒へ配付し、家庭での生活習慣と学習習慣の確立を目指しました。また、学校独自に啓発資料を作成して配付したり、意図的に宿題を毎日出すようにしました。</p> <p>まだまだ中学生では、不規則な生活習慣が目立ち、家庭学習も十分には行われてはいません。</p> <p>今後も、授業との関連をもたせた宿題や自由学習など宿題の出し方の工夫、やる気を起こさせる即時評価等を通して、粘り強く指導してまいります。</p>

事業名	教職員の資質向上事業
担当課等	教育研究室
事業概要	教員の資質向上のための研修会の充実を図ります。寒川学びっ子育成推進事業の効果的な展開により、教員の指導力の向上を図ります。
成果指標	研修会への参加人数
目標値	200人/年
成果実績	243人
成果と課題 今後の取組等	<p>「観点別評価 基礎の基礎」「震災と学校現場」「授業づくりの基本」「思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導と評価」というテーマで4回の教職員研修会を実施しました。学びっ子育成推進事業では延べ25回の公開研究会を実施しました。町のスケールメリットを生かし、学校の垣根を取り払い、全町をあげて教員の指導力向上を図る体制をつくることができました。今後も、他校の研究会に自由に参加できる体制を継続させて、若手教員を中心に指導力の向上を図ってまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 2 震災等への災害対策を進め、防災教育の推進に努めます。
- ・学校防災計画の改善及び避難所ごとの運営マニュアルの作成
 - ・「自分の命は自分で守る」をベースにした防災教育の展開
 - ・巨大地震や大津波を想定した避難訓練の実施

2. 震災等への災害対策を進め、防災教育の推進に努めます。

学校防災計画については、平成23年度より準備を進めてきた「学校防災計画見直しの指針」をもとに、平成24年度は寒川町学校防災計画案を町校長会が中心となり作成しました。これにより町内共通の防災計画の内容を確認し、そこに各校の状況を踏まえた内容を加えて学校ごとの防災計画が作成されました。避難所としての学校施設の運営についても、学校と自治会が連絡をとりあいマニュアルを作成し、連携が図られつつあります。

また、町内小中学校で一斉に保護者による合同引き取り訓練を実施し、防災への意識を高めることにつながりました。平成25年度は保育園も含めての合同訓練を予定しています。

避難訓練の実施にあたっては、学校はこれまで以上に事前指導を充実させて取り組みました。火災及び地震のための避難訓練のほかに、大津波を想定した避難訓練を実施した学校もあり、改めて避難経路等の課題を確認することもできました。今後は、全ての学校で校舎最上階へ避難して津波から身を守る訓練を行ってまいります。

また、通学路や生活圏の危ない箇所をチェックするなどの活動を通して、児童・生徒に災害時の具体的な行動のとり方を理解させることで、「自分の命は自分で守る」ことを基本とした防災教育の充実に努めてまいります。

取り組んだ主要事業

事業名	「生きる力」の育成事業
担当課等	学校教育課
事業概要	防災教育・情報教育・環境教育・国際教育などを充実させ、時代の変化に対応する力を育成します。
成果指標	アンケートによる望ましい児童・生徒の割合
目標値	80%
成果実績	防災 小学校88% 中学校85%
成果と課題 今後の取組等	児童・生徒の防災意識を問うアンケートから、各学校の様々な取り組みにより、以前に比べると自分のこととして捉えることができました。 避難訓練でも真剣に取り組む児童・生徒及び教職員の姿が見られました。しかし、いざというときに「自分の身は自分で守る」という実践力をつけるところまでは達していません。 今後も、視聴覚教材を有効に用いて、繰り返し指導をするとともに、児童・生徒を地域の自主防災訓練へ主体的に参加させたり、自分の目で通学路や生活圏の危険箇所を点検させたりして、具体的な行動力を身につけてまいります。

平成24年度の重点施策

3 支援を必要とする児童・生徒のニーズに応じた教育環境を整備します。

- ・旭小学校、寒川東中学校での特別支援学級の開設
- ・特別支援学級補助員、介助員、ふれあい教育支援員の配置
- ・不登校児童・生徒への相談体制の充実
- ・児童相談所等の他機関との連携を強化した教育相談の展開

3. 支援を必要とする児童・生徒のニーズに応じた教育環境を整備します

<特別支援学級の開設>

平成23年度の就学相談の中で、旭小学校・寒川東中学校へ入学する児童・生徒の保護者から特別支援学級への就学希望が出されたのを受けて、開設準備を行いました。その中で、今まで他校の特別支援学級に通っていた児童からも地域の小学校の特別支援学級へ通いたいとの希望がありました。また、通常学級から特別支援学級への入級を希望する生徒も出てきました。こうした経緯を踏まえて要望を実現するために旭小学校に知的障害学級、自閉症・情緒障害学級と肢体不自由学級の3クラスを、寒川東中学校に知的障害学級と自閉症・情緒障害学級の2クラスを開設しました。

今年度から始めた、特別支援学級保護者アンケートでは、小学校では98%、中学校では89%の保護者が満足しており、小・中学校合わせても90%の保護者が満足していることが分かります。

これは、地域の学校の特別支援学級へ通わせたいという保護者のニーズに応じた教育環境整備が進んでいるということでもあります。今後も、ニーズに応じた教育環境整備を進めてまいります。

<補助員・介助員・支援員の配置>

特別支援学級補助員を寒川小学校へ2名、一之宮小学校へ1名、旭小学校へ1名、寒川中学校へ1名、旭が丘中学校へ2名、配置しました。授業における補助だけでなく、食事・着替え・トイレ等の補助も行い、児童・生徒の学校生活を効果的に補助することができました。

介助員については、小学校からの要請に応じて、通常学級に在籍する障がいのある児童2名に対し、合計14日間、39時間の派遣を行いました。遠足・地区音楽会の移動支援や水泳指導の介助を行い、児童の学校生活を効果的に介助することができました。

ふれあい教育支援員は小学校5校全てに1人ずつ配置し、小学校1年生を中心に担任の指示により、授業や休み時間など、支援の必要な児童に対し効果的な支援ができました。年々、通常学級に在籍する支援の必要な児童が増えており、学校によっては各校1名の現体制では十分な支援が行えない状況も見られます。

<相談体制>

不登校児童・生徒への相談体制については、指導主事・医師・心理士・専任教員・巡回相談員・訪問相談員・メンタルフレンドを活用し、年間542件の相談指導を行い、相談指導教室への通級率は、前年の18%から31%と上げることができました。

また、多様な支援を必要とする児童・生徒への相談としては、合計903件の相談指導を行い相談指導体制の充実が図られました。

<他機関と連携した教育相談>

寒川町子どもサポートネットワーク協議会において、子育て支援課、児童相談所、保健所の職員などと情報交換をするとともに、教育相談連絡協議会において、スクールカウンセラー、教育相談コーディネーター、相談指導教室専任教員、茅ヶ崎養護学校職員などと連携を図り、児童相談所等の他機関と連携した教育相談体制の強化が図れました。

取り組んだ主要事業

事業名	特別支援教育推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	特別な支援を必要とする児童・生徒のニーズに応えます。
成果指標	アンケートによる児童・生徒・保護者の満足度
目標値	70%
成果実績	90%
成果と課題 今後の取組等	<p>旭小学校に知的障害学級、自閉症・情緒障害学級及び肢体不自由学級の3クラスを寒川東中学校に知的障害学級と自閉症・情緒障害学級の2クラスを開設することができました。また、町内の特別支援学級に在籍する保護者の満足度は小学校3校で98%、中学校3校で89%の成果をあげることができました。</p> <p>今後の課題としては、開設が続いている特別支援学級を担当する教員の資質向上と保護者とより綿密な連携をとりながら教育にあたる事が挙げられます。</p>

事業名	教育相談事業
担当課等	教育研究室
事業概要	多様な支援を必要とする児童・生徒のニーズに応えます。
成果指標	専門スタッフによる相談件数
目標値	1,000件/年
成果実績	903件
成果と課題 今後の取組等	<p>指導主事・医師・心理士・専任教員・巡回相談員・訪問相談員・メンタルフレンドを配置し、様々な事例に応じた相談指導を展開し、児童・生徒のニーズに応えることができました。</p> <p>関連機関との連携の必要性はもとより、学校(学級担任)との連携をさらに深め、児童・生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、児童・生徒・保護者及び教職員に対して継続的に支援してまいります。</p>

事業名	教育相談事業
担当課等	教育研究室
事業概要	不登校児童・生徒への支援を行います。
成果指標	相談指導教室への通室率
目標値	50%
成果実績	31%
成果と課題 今後の取組等	<p>教育研究員研究会の児童・生徒指導研究部会で「不登校ゼロへの挑戦」をテーマに、各学校ですぐに取り入れることのできる実践を調査研究し各校へ周知することができました。</p> <p>また、不登校からの立ち直りのステップとして、相談指導教室への通級の意義を再確認し、魅力ある活動の展開と関連機関等との連携により通室率を13%上げることができました。</p> <p>今後も、受け身ではなく、相談指導教室に積極的に誘い込む活動に力を入れてまいります。</p>

生涯学習

ア 乳幼児期

◇乳幼児期の方針◇

- 家庭教育に関する情報の提供を図り、相談や学習の機会を設けます。
- 経済的負担を軽減することで、私立幼稚園等への就園を奨励します。

平成24年度の重点施策

1 子育て、家庭教育についての学習機会を設け、その情報提供に努めます。

- ・子育てや家庭教育に関する情報を子どものための情報紙「すきっぷ」やホームページ・広報紙・町民大学メニュー等に掲載

取り組んだ主要事業

事業名	学習情報提供体制整備事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	子育てや家庭教育に関する情報をホームページ・広報紙・町民大学メニュー等に掲載します。
成果指標	情報紙「すきっぷ」の発行回数
目標値	4回
成果実績	4回
成果と課題 今後の取組等	<p>成果指標としている子ども向け情報紙「すきっぷ」は7月、10月、12月、3月の年間4回、毎号5000部を発行し、町内保育園、幼稚園、小学校を通じ配布を行いました。町内の子ども向け事業がまとまって掲載されているため、好評を得ており、町長部局での青少年を対象とする事業や町内の青少年活動団体からの掲載依頼の要望も増えています。</p> <p>学習情報提供体制整備事業としては「すきっぷ」の他にも生涯学習活動を支えるための基本となる情報提供に取り組んでいますが、参加者の減少や固定化が見受けられる事業もあり、多くの参加者を呼び込むためにも各種事業の開催情報をより広く周知する必要があります。今後は効果的なPRを行うため、町ホームページや「さむかわ生涯学習総合案内」の紙面を工夫する等、さらなる情報提供の充実を図ってまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 2 親子で参加できるスポーツ教室やイベントを開催し、親子がふれあう機会の提供をします。
- ・スポーツデイのベビーピクスや親子体操の実施
 - ・子育て支援課や総合型地域スポーツクラブと連携した親子がふれあう事業の充実

取り組んだ主要事業

事業名	スポーツ活動推進事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	親子で参加できるスポーツ教室や大会等を開催し、親子がふれあう機会の提供をします。
成果指標	親子スポーツ教室の年間参加者数 (ボルダリング教室、テニス教室、親子体操、ベビーピクス)
目標値	240人
成果実績	10人
成果と課題 今後の取組等	新たなスポーツとしてボルダリング教室を開催し、参加された親子は体験する機会が少ないスポーツのため、時間のたつのも忘れ、楽しく参加をしていました。しかし、テニス教室は雨天により開催することができず、スポーツデイの中で実施する予定だった親子体操、ベビーピクス教室につきましては、スポーツクラブとの実施に向けた協議が十分に行うことが出来なかったため開催まで至りませんでした。今後は日程の調整を早く行い、当初の予定どおり親子スポーツ教室やイベントを開催してまいります。

事業名	スポーツ活動推進事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	多くの親子が教室等に参加できるよう、広報紙、ホームページ等を通じて積極的に情報を提供します。
成果指標	参加者が定員を満たす親子教室数 (ボルダリング教室、テニス教室、親子体操、ベビーピクス)
目標値	全教室
成果実績	1教室
成果と課題 今後の取組等	新たなスポーツとしてボルダリング教室を開催するため、広報紙、ホームページを活用し情報提供を行ったところ募集定員に達することができました。しかし、テニス教室、親子体操、ベビーピクス教室は、開催が出来なかったため、広報紙等での情報提供は行いませんでした。現在は2ヶ月位前の広報紙等で周知しており、情報提供はなるべく早めに行っていますが、なかには申込時期を忘れてしまい、募集期間に間に合わず定員に達しないこともあります。今後は年度当初に教室の年間スケジュールを広報紙、ホームページ等に掲載し、さらに申込時期を直近の広報誌にて周知する等申込時期を逸しないよう工夫をした情報提供を検討し、定員を満たす教室としてまいります。

平成24年度の重点施策

3 子育て、家庭教育についての講座を開催し、家庭教育の充実に努めます。

- ・親子散髪教室、本の読み聞かせ講座、家庭教室（子育て、しつけ）学級、親子リトミック教室などの講座の実施

取り組んだ主要事業

事業名	公民館講座開催事業
担当課等	公民館
事業概要	子育てや家庭教育につながる講座を開催します。 (親子散髪教室、本の読み聞かせ講座、こすもす学級講座(子育て、しつけ)、親子リトミック教室、羊毛講座、幼児期の子育てについて考えよう講座)
成果指標	講座定員に対する参加率
目標値	100%
成果実績	79.3%
成果と課題 今後の取組等	乳幼児期の子育て支援、家庭教育につながる6講座を実施いたしました。各事業の実績は、親子散髪教室60%、こすもす学級65%、親子リトミック教室100%、羊毛講座30%、幼児期の子育てについて考えよう講座66%でした。成果実績は、79.3%ありましたが、本の読み聞かせ講座については定員を定めておりませんので、成果実績には、反映させておりません。羊毛講座は、参加率が30%でしたが、参加者からは「羊毛を使ってオモチャや動物などを親子で楽しく作ることができた。」と好評で、今後は広報ホームページ等に興味をもたせるPRに努め、親子が少しでも多く参加してもらえるよう工夫してまいります。

平成24年度の重点施策

4 絵本等との出会いの場を設けます。

- ・おはなし会（絵本や紙芝居の読み聞かせ）の実施

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	おはなし会（読み聞かせ）の事業を開催します。
成果指標	開催回数（毎週土曜日のおはなし会・夏休み・クリスマス・赤ちゃんのおはなし会）
目標値	60回
成果実績	51回
成果と課題 今後の取組等	臨時職員とおはなし会ボランティアの協力を得ながら、土曜日毎に実施しました。今年度は前年度実績（50回）を上まわり、来場者も1,177人となり、来ていた親子は楽しく聞き入っていました。 今後は、ボランティアで、平日に小学校低学年を対象としたおはなし会も実施し、目標値を達成してまいります。

平成24年度の重点施策

5 町民のニーズを踏まえ、図書館からの積極的な情報の提供に努めます。

- ・子育てや家庭教育関係の資料の充実

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	子育てや家庭教育関係の資料を充実していきます。
成果指標	子育てや家庭教育関係資料の年間購入資料点数
目標値	50点
成果実績	77点
成果と課題 今後の取組等	子育てや家庭教育関係の資料を充実するため、まず資料の展示を行いました。様々な分野から資料を収集し、目標値以上の購入をすることができました。また、資料を展示したことにより、関連する図書を借りた方も多く、本来の目的である子育て、家庭教育の推進に寄与することができました。 家庭教育の視点から「男の子育て」をテーマに育児本の展示も実施し、好評でありました。今後も利用者の意見も採り入れながら、広い視野に立って、資料の収集、提供に努めてまいります。

平成24年度の重点施策

- 6 保育料・入園料を補助して経済的負担を軽減することで、私立幼稚園等への就園を奨励します。
- ・私立幼稚園等の園児の保護者に補助金を交付

取り組んだ主要事業

事業名	私立幼稚園就園奨励費助成事業
担当課等	教育総務課
事業概要	幼児の幼稚園などの幼児教育機関への就園を促すために、園児の保護者に補助金を交付して経済的負担を軽減します。
成果指標	町内在住の4、5歳児のうち、保育園に通園する児童を除く児童の私立幼稚園等への就園率
目標値	100%
成果実績	96.4%
成果と課題 今後の取組等	小学校入学前に幼児教育機関や保育園へ就園することは、社会性を身につけられ、集団生活に慣れることもできるので、全ての4、5歳児が就園してほしいことから、目標値を100%としました。保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減したことにより、幼稚園等への就園奨励に繋がり、平成23年度より就園率が0.4%増となりました。今後は幼児教育の無償化について、国の動向を注視しながら対応してまいります。

イ 青少年期

◇青少年期の方針◇

- 子どもを見守り、安心・安全を確保します。
- 保護者、地域の人材を生かし、学習活動・体験活動の充実を図ります。
- 地域で育った子どもの力を地域の活動に生かします。

平成24年度の重点施策

- 1 子ども会事業や町事業等へ参加するなど青少年の健全育成に努めます。
 - ・ジュニア・リーダーズクラブの活性化やさつまいも作り体験教室の実施

取り組んだ主要事業

事業名	青少年育成事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	青少年指導員連絡協議会と連携しながらジュニア・リーダーズクラブの活性化を図ります。
成果指標	ジュニア・リーダーズクラブ会員数
目標値	平成23年度比10%増(平成23年度:21人)
成果実績	平成23年度比4.7%減(平成24年度:20人)
成果と課題 今後の取組等	<p>ジュニア・リーダーズクラブ体験会のチラシやポスターを中学1年生全員に配布し、学校にもポスターを掲示しました。また、メンバーの活動を、キャンプ時に実際に見てもらい、加入を促した結果、2名の加入がありましたが、大学生などのメンバーが3名退会したため、会員数が減となりました。</p> <p>さつまいも作り体験教室は、収穫の喜びを体験できる事業で、ジュニア・リーダーズクラブ会員加入のきっかけとして、青少年指導員連絡協議会が実施し、本年も延べ250名の参加がありました。</p> <p>今後は、ジュニア・リーダーズクラブメンバーも主体的に参加し、ジュニア・リーダーズクラブへの加入を勧め、会員数を増やしてまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 2 ふれあい塾を通して、子どもたちが安心・安全に遊べる場を確保するとともに、ふれあい塾の見守りボランティア登録者を増やします。
- ・地域の見守りボランティアの充実
 - ・放課後の小学校の子どもたちが安心して遊べる場所の提供

取り組んだ主要事業

事業名	ふれあい塾運営事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	地域の見守りボランティアのもとで放課後の児童が安心して遊べる場所を提供します。
成果指標	児童のふれあい塾登録率
目標値	80%
成果実績	60.8%
成果と課題 今後の取組等	目標値は、登録さえしておけばいつでも児童が利用できる趣旨で設定しました。実際に利用する児童が登録をしている状況のため目標値を下回りましたが、60%を越える登録率があり、児童が安心して遊べる場所の提供ができました。しかし、見守りボランティアの高齢化や開設時間が短いなど課題があります。今後は保護者や児童のニーズに答えられるように開設日や開催時間の拡大など検討してまいります。

平成24年度の重点施策

- 3 地域行事として定着している町文化祭に、多くの青少年が参加できるよう工夫します。
 ・ヤング・ダンス・フェスタ等の事業を実施

取り組んだ主要事業

事業名	地域文化振興事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	町文化祭への青少年の参加促進のため、ヤング・ダンス・フェスタ等の事業を実行委員会と協働で進めます。
成果指標	文化祭への青少年の参加者数
目標値	200人
成果実績	約350人
成果と課題 今後の取組等	<p>町民の文化活動の活性化のためには、より幅広い年齢層の参加が不可欠です。本年度も町文化祭において、町民センターホールでの文化祭式典に続き、町内を拠点に活動する青少年ダンス団体の参加による「ヤング・ダンス・フェスタ」を開催し、多くの青少年やその保護者に町文化祭をPRしました。文化祭に参加する各団体も、青少年層の取り込みを狙って、独自の事業展開をしています。</p> <p>また、文化祭のキャッチコピー募集には、一般成人からの応募の他、町内の小・中学校、寒川高校から401人433作品の応募がありました。(応募総数は410人449作品)</p> <p>今後もより多くの町民に地域の文化活動への関心を深め、参加してもらえるよう努めてまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 4 親子で参加できるスポーツ教室や大会等を開催し、親子がふれあえる機会の提供をします。
- ・フットサル、テニス、体操、ボルダリング教室等や総合型地域スポーツクラブでのカヌー教室、チャレンジスポーツの開催

取り組んだ主要事業

事業名	スポーツ活動推進事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	親子で参加できるスポーツ教室や大会等を開催し、親子がふれあう機会の提供をします。
成果指標	親子スポーツ教室の開催数
目標値	12教室
成果実績	3教室
成果と課題 今後の取組等	新たなスポーツとしてボルダリング教室を町主催で、カヌー教室を総合型地域スポーツクラブの主催で開催し、また親子体操教室はチャレンジスポーツの中で総合型地域スポーツクラブの主催で開催することができました。3教室とも参加者は、普段行ったことのない種目であるため、親子で話をしながら、楽しく参加していました。しかし、テニス教室は雨天のため中止となり、フットサル教室は湘南ベルマーレとの実施に向けた協議を十分に行うことが出来なかったため開催まで至りませんでした。今後は日程の調整を早く行い、当初の予定どおりスポーツ教室やイベントを開催してまいります。

平成24年度の重点施策

- 5 学校の体育施設を開放し、地域でスポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供します。
- ・スポーツ施設及び全小中学校等の各種スポーツ団体への積極的開放

取り組んだ主要事業

事業名	スポーツ施設運営管理事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	学校の体育施設を開放し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供します。
成果指標	体育施設を一般開放する町立小・中学校数
目標値	8校
成果実績	8校
成果と課題 今後の取組等	目標値である8学校の体育施設を一般の団体に開放し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場の提供ができました。しかし、夜間照明施設や設備品の一部に老朽化が見受けられます。今後は安全、安心な施設として開放をするため計画的な改修等の時期を検討してまいります。

平成24年度の重点施策

- 6 青少年を対象に自然観察会、体験講座を開催します。
- ・自然や科学好きの子どもを応援するため科学少年団の設立
 - ・川の生き物探検、星空観察会、子ども科学デーの実施

取り組んだ主要事業

事業名	公民館講座開催事業
担当課等	公民館
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・寒川科学少年団の設立（オリエンテーション、県立地球博物館見学、プチプロ寒川大会、子どもサイエンスフェスティバルに参加、星空観察会、宇宙航空研究開発機構相模原キャンパス見学） ・青少年向け体験講座等を開催します。（星空観察会、子ども科学教室（カイト作り）プチプロ寒川大会）
成果指標	講座定員に対する参加率
目標値	100%
成果実績	70%
成果と課題 今後の取組等	<p>新たな事業として、小学4年生以上の児童を対象に科学や自然に興味を持つ子どもたちを育てるために寒川科学少年団を立ち上げました。施設見学や体験学習を含めた年6回の講座を開催いたしました。夏に予定していましたが川の生き物探検が出来ませんでしたので、3月に相模原の宇宙航空研究開発機構相模原キャンパスの見学を行いました。参加した児童からは素晴らしい体験ができたと好評でした。今後は特に小学校と連携を取り、団員20名を目標に推進してまいります。</p>

平成24年度の重点施策

7 青少年が主体となる事業を実施します。

- ・子どもフェスティバル、クリスマス広場などの実施

取り組んだ主要事業

事業名	公民館講座開催事業
担当課等	公民館
事業概要	子どもフェスティバル等青少年と地域の方々が交流する場を設けます。 (北部公民館・夏休み子どもフェスティバル、南部公民館・クリスマス広場、町民センター・子どもサイエンスフェスティバル)
成果指標	実施公民館数
目標値	3館
成果実績	2館
成果と課題 今後の取組等	<p>北部公民館で開催しております夏休み子どもフェスティバルは、年々参加者が減少する傾向が見受けられます。今後は小学校や地域の方との連携を図り参加者を増やしてまいります。</p> <p>南部公民館では、クリスマス広場を開催しましたが、青少年と地域の方が交流する場が設けられておりませんので、今後、工夫検討してまいります。</p> <p>町民センターでは、青少年と地域の方が交流する事業として、新たに子どもサイエンスフェスティバルを開催したところ、400名の参加者があり盛況に行うことができました。来年度も継続して行ってまいります。</p>

平成24年度の重点施策

8 美術や文化に親しむ事業へのより一層の参加を促します。

・ジュニア絵画展や書き初め大会などの実施

取り組んだ主要事業

事業名	文化振興事業
担当課等	公民館
事業概要	ジュニア絵画展や書き初め大会など芸術文化に親しむ機会を提供します。
成果指標	全児童・生徒数に対する出展割合
目標値	70%
成果実績	ジュニア絵画展 39.3% 書き初め大会 54% (募集人員に対する出展割合)
成果と課題 今後の取組等	ジュニア絵画展への参加割合は、小学生が1,469人で53.2%、中学生116人9.1%の参加率がありました。また、ジュニア絵画展には優秀な作品200点を展示しました。土曜日、日曜日には、入賞者を初め大勢の方々の見学をいただき、大変好評を得ております。特に小学生の参加率は、毎年50%以上と高く、今後も継続して行きたい重要な事業です。

平成24年度の重点施策

9 青少年の読書意欲の推進や本を読む機会をつくります。

・夏休みに「わくわく読書マラソン」事業の実施

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	読書意欲の推進や本を読む機会作りのため、夏休みに「読書記録カード」事業を行います。
成果指標	参加者数
目標値	250人
成果実績	416人
成果と課題 今後の取組等	小中学生に読書への関心を高めてもらうために平成21年度からの継続事業で、過去の年間平均を目標値として設定しました。今年度は「わくわく読書マラソン」と銘打って、記入用紙を変更したことや興味のある図書が多く読まれたこともあり、前年度より参加者が大幅な増となりました。今後も多くの小中学生に参加してもらえよう学校との連携を図りながら、ホームページ等での情報提供も行ってまいります。

ウ 伸長期

基本方針4 チャレンジ精神・自立心を育むための環境整備を進めます。

(賢く豊かな自分づくり)

平成24年度の重点施策

- 1 青年たちが参加しやすい生涯学習の機会を設け、地域の仲間づくりを進めます。
 - ・PTA指導者研修会などの成人期を対象とした事業の実施

取り組んだ主要事業

事業名	生涯学習振興事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	PTA指導者研修会など成人期を対象とした事業を実施し、学ぶ機会を広げるとともに、仲間づくりを進めます。
成果指標	PTAを対象とした研修の参加者数
目標値	平成23年度比10%増(平成23年度:94人)
成果実績	平成23年度比8.5%増(平成24年度:102人)
成果と課題 今後の取組等	<p>子どもたちの健全な成長を図ることをテーマにして、自らが学び、実践されているPTA活動はまさに生涯学習そのものと言えます。生涯学習は、自分の人生を豊かにするためだけでなく、みんなで力を寄せ合って、明るく楽しく地域社会をつくることも大きなねらいの一つです。</p> <p>各校PTAに対して学習の場を提供するために毎年研修会を実施しております。平成24年度も本部役員研修会、広報研修会、全体会の3部会を実施しました。目標値には達成しなかったものの、参加人数は増加しており、概ね目標値を達成することができました。今後もPTAの役割の重要性や子どもたちをとりまく環境等をテーマとした講演のほか、グループワークのような参加者同士のコミュニケーションが深まる内容を取り入れるなど、研修の質的向上を目指してまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 2 成人式の記念事業を新成人等により組織する実行委員会形式とし、自らが式の企画や運営にあたることにより、自立と共生の精神を育みます。
- ・新成人に公募等で実行委員を募集し「祝ってもらう」から「自ら祝う」式へ転換し、自立と共生を学ぶ機会を提供

取り組んだ主要事業

事業名	成人式開催事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	「祝ってもらう」から「自ら祝う」式へ転換し、自立と共生を学ぶ機会とします。
成果指標	式典参加者率
目標値	80%以上(平成23年度74.5%)
成果実績	78.4%
成果と課題 今後の取組等	<p>成人式は、若者に自立と自覚を学ぶ良い機会となるよう開催しました。開催にあたっては、新成人の代表で組織する成人式実行委員会を開き、記念式典を自ら企画・運営することで、仲間作り、企画力、協調性等を得る機会となりました。また、参加者は、同年代の企画による成人式なので楽しみ、中でも恩師のビデオレターは好評でした。</p> <p>目標については、少しでも多くの方に来てもらいたいという期待もあって設定しましたが、到達はしなかったものの、悪天候のなかほぼ達成できました。また参加者78.4%は県内でも上位になっています。</p> <p>今後、式典での私語については、事務局にてその都度、注意を喚起してまいります。</p>

平成24年度の重点施策

3 成年が参加しやすい講座や地域の仲間作りを進めます。

・バトミントン、ソフトテニスなどの講座開催

取り組んだ主要事業

事業名	公民館講座開催事業
担当課等	公民館
事業概要	若者文化を取り入れた講座を開催し、仲間づくりを進めます。 (バトミントン初心者講習会、バトミントン交流大会)
成果指標	講座定員に対する参加率
目標値	100%
成果実績	95.4%
成果と課題 今後の取組等	24年度事業として初めて、ソフトテニスと北部公民館でバトミントン初心者講習会を実施いたしましたが、ソフトテニスについては小学生を対象に青少年期の事業として実施致しました。バトミントン交流大会は、寒川中学校の生徒などの参加者93名により盛況に行うことができました。 しかし技術面に個人差があることから、グループ分けなど安全面に十分配慮して今後も進めてまいります。

平成24年度の重点施策

4 コンサート、演劇、バレエ、ダンス等より質の高い文化芸術の発表や鑑賞の機会を設けます。

・文化講演会、コンサートの実施

取り組んだ主要事業

事業名	文化振興事業
担当課等	公民館
事業概要	文化講演会など学ぶ機会を充実させるとともに発表の場を提供します。(文化講演会、ふれあいコンサート、古典落語とマジックショー、寒川合唱祭、寒川音楽祭、古典芸能講座、クリスマスコンサート)
成果指標	講演会等の定員に対する参加率
目標値	50%
成果実績	51%
成果と課題 今後の取組等	24年度は、古典落語とマジックショー、寒川音楽祭などを加え7事業を行いました。演劇、バレエ、ダンスなどの事業は実施出来ませんでした。今後は計画を立てたものについては、しっかり実施してまいります。文化講演会の参加者については、毎年少しずつ増えてきております。今後も講演者、講演内容、参加者アンケートなどを参考にしながら参加者を増やしてまいります。また、寒川合唱祭、寒川音楽祭、古典芸能講座などの事業も継続して行ってまいります。

平成24年度の重点施策

- 5 図書館機能を向上させ、図書館利用の促進を進めます。
 ・北部公民館図書室、南部公民館図書室のサテライト化

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	南・北公民館図書室とのサテライト化を行い、利用者の利便性を図ります。
成果指標	サテライト館数
目標値	2館
成果実績	2館
成果と課題 今後の取組等	公民館図書室を総合図書館の分室とし、サテライト化を実施しました。その結果、育児をされている方や高齢者の方などが、多くの図書を借りたり返却したりする場合に総合図書館、南部・北部分室のどこでも可能であり、また、3施設の蔵書検索もできるなど利便性の向上が図られ利用者を増やすことができました。今後は、ネットワーク化の周知を推進し、更なる図書館利用者の増加を図ってまいります。

平成24年度の重点施策

- 6 図書館ボランティアの活用により図書館サービスの充実に努めます。
 ・おはなし会の実施

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	ボランティアを募り、より開かれた図書館運営を行います。
成果指標	登録者数
目標値	10名
成果実績	8名
成果と課題 今後の取組等	おはなし会の読み聞かせボランティアを募集し、8名の参加を得られ充実した活用を図ることができました。ボランティアの方々も、人とのつながりを楽しみながら、おはなし会を実施することができました。しかし、初めての募集であるため町民への浸透が広がらず、目標値には達しませんでした。今後は、おはなし会を含め、書架整理など他のボランティアも募集しながら、更なる図書館運営の充実に努めてまいります。

基本方針5 スポーツに気軽に親しみ、心身の健やかな成長を促す環境の整備を進めます。

(健やかな体づくり)

平成24年度の重点施策

7 町民のニーズに応えるための指導者育成や確保を図ります。また、地域におけるスポーツ活動支援のためのスポーツボランティア制度を確立します。

- ・ 体育協会や総合型地域スポーツクラブからの指導者派遣制度の充実
- ・ スポーツデイなどのイベントや子供会、自治会、学校へのスポーツ活動の支援

取り組んだ主要事業

事業名	スポーツ支援体制強化事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	総合型地域スポーツクラブと連携することにより、町民のニーズに合わせたスポーツ活動を進めます。
成果指標	町民の要望に応えるため、種目別の指導者を派遣する制度の確立
目標値	制度の確立
成果実績	—
成果と課題 今後の取組等	<p>カヌー指導者講習会を開催することができました。しかし他の種目で指導者としての資格者の把握が出来ていないため、今後は総合型地域スポーツクラブと連携しながら指導者の把握を進め制度の確立を図ってまいります。</p> <p>子育てや介護等でスポーツがしたいのにできない人に対し、スポーツに親しむ環境づくりの一環として、種目別の指導者派遣制度の確立を目指しましたが、種目別指導者の把握も含め、各種団体と制度化までの協議に至りませんでした。今後は、指導者養成講座の実施や各種スポーツの場所等の設定をするほか、町民ニーズを各種団体に伝える等、制度の確立を図ってまいります。</p>

事業名	スポーツ支援体制強化事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	地域におけるスポーツ活動の支援のため、スポーツボランティア等の人材を確保します。
成果指標	スポーツボランティア制度の確立
目標値	制度の確立
成果実績	—
成果と課題 今後の取組等	<p>制度の確立は出来ませんでした。どのような人材をどのようなボランティアとして確保していくのか、また各担当課でボランティア人材を確保していくのがよいのか（一括募集、一括管理）などの体制が図られてからの制度と思います。</p> <p>担当職員だけでは、スポーツイベントや子供会、自治会、学校などへのスポーツ普及が時間的にも限界があるため、ボランティアによる普及制度が必要です。しかし、ボランティアの活用はスポーツに限らないことから全庁的な制度設計を目指しましたが、足並みを揃えることは出来ませんでした。</p>

Ⅰ 充実期

基本方針6 人間の幅を広げ、交流を図る活動への支援を行います。

(賢く豊かな自分づくり)

平成24年度の重点施策

- 1 円熟期への助走路となるような生涯学習の機会や、学習成果を地域へ還元できる仕組みを充実させるとともに、不惑式などの実施により地域に仲間づくりの場を設けます。
 - ・ステップ・アップ（生涯学習人材登録制度）の充実
 - ・不惑式など地域参加へのきっかけとなる場の開催

取り組んだ主要事業

事業名	学習情報提供体制整備事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	学習機会を求めている人や自分の技術・技能などを伝えたい人に情報を提供できるよう、その体制を充実し地域の学習活動の活性化を図ります。
成果指標	ステップアップ登録講師による講座開催数
目標値	平成23年度比10%増（平成23年度：8講座）
成果実績	平成23年度比増減なし（平成24年度：8講座）
成果と課題 今後の取組等	<p>寒川町生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」は平成24年度は37名の登録者がおり、制度活用の拡充のために、自主企画講座を募集し、実施しました。目標値と成果実績に増減はありませんでしたが、学習成果を地域へ還元するためにも登録者の実践の場を増やし、講座企画の斡旋や相談体制を整備し、自主的な生涯学習活動が活発となるよう支援していきます。</p> <p>なお、実施した8講座のうち2講座については、自主企画講座を希望する講師を公民館へ紹介し、公民館講座として実施され、公民館と連携した登録講師活用の推進が図れました。</p> <p>各種事業の開催情報をより広く周知し効果的なPRを行うため、「さむかわ生涯学習総合案内」の紙面を工夫する等、さらなる情報提供の充実を図る必要があります。また、人材登録制度には登録講師の自主企画講座だけでなく、今後も公民館事業での活用などの周知を図るとともに新たな講師の登録に努め、地域の人材活用や学習活動の活性化を図ってまいります。</p>

事業名	生涯学習振興事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	不惑式など地域参加へのきっかけとなる場を設けるとともに、生涯学習の意識向上を図るため、町民大学など自由に学習活動ができる環境づくりを行います。
成果指標	町民大学メニュー事業の定員に対する参加率
目標値	平成23年度比10%増（平成23年度：63.8%）
成果実績	平成23年度比23.5%増（平成24年度：78.8%）
成果と課題 今後の取組等	<p>町が実施する講座を全庁的に取りまとめ、「さむかわ町民大学」として幅広い学習機会を提供した結果、参加率の増につながり、学習活動ができる環境づくりができました。</p> <p>しかし、平成23年度の公民館に関する無作為抽出のアンケート調査結果からは、寒川町内の公民館利用者は全体の3割となっており、利用者のさらなる増加が課題となっています。公民館講座等を利用していない方々の希望するメニューや開催時間等のニーズ把握が出来ていない部分がありますが、研究、工夫をしながら、より多くの町民が地域での生涯学習活動に参加できるよう努めてまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 2 男女ともに充実した生涯学習の円熟期を迎えられるように、講座等様々な機会を設定し、生涯学習を通じて、地域の仲間づくりを進めます。
- ・親子の箸づくり等家族で参加できる講座の開催
 - ・包丁研ぎ教室など男性を対象とした講座の開催

取り組んだ主要事業

事業名	公民館講座開催事業
担当課等	公民館
事業概要	男女が共に生涯の趣味や生きがいにつながるような講座を開催します。（メンズクッキング、ノルディックウォーキング、ペタンク、家族で参加できる講座・箸作り）
成果指標	講座定員に対する参加率
目標値	100%
成果実績	85.1%
成果と課題 今後の取組等	包丁研ぎ教室については実施できませんでしたが、メンズクッキングなど4講座を実施いたしました。特にノルディックウォーキングは、川とのふれあい公園で毎週水曜日にウォーキングするなど仲間づくりにもなっております。講座の参加率も高く、今後もメンズクッキングや物づくり、スポーツ系の事業を取り入れた講座を実施してまいります。

平成24年度の重点施策

- 3 コンサート、演劇、バレエ、ダンス等より質の高い文化芸術の発表や鑑賞の機会を設けます。

・文化講演会、コンサートの実施 (再掲)

取り組んだ主要事業

事業名	文化振興事業
担当課等	公民館
事業概要	文化講演会など学ぶ機会を充実させるとともに発表の場を提供します。 (文化講演会、ふれあいコンサート、古典落語とマジックショー、寒川合唱祭、寒川音楽祭、古典芸能講座、クリスマスコンサート) (再掲)
成果指標	講演会等の定員に対する参加率
目標値	50%
成果実績	51%
成果と課題 今後の取組等	24年度は、古典落語とマジックショー、寒川音楽祭などを加え7事業を行いました。演劇、バレエ、ダンスなどの事業は実施出来ませんでした。今後は計画を立てたものについては、しっかり実施してまいります。 文化講演会の参加者については、毎年少しずつ増えてきております。今後も講演者、講演内容、参加者アンケートなどを参考にしながら参加者を増やしてまいります。また、寒川合唱祭、寒川音楽祭、古典芸能講座などの事業も継続して行ってまいります。

平成24年度の重点施策

4 図書館機能を向上させ、図書館利用の促進を進めます。

・北部公民館図書室、南部公民館図書室のサテライト化 (再掲)

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	南・北公民館図書室とのサテライト化を行い、利用者の利便性を図ります。 (再掲)
成果指標	サテライト館数
目標値	2館
成果実績	2館
成果と課題 今後の取組等	公民館図書室を総合図書館の分室とし、サテライト化を実施しました。その結果、育児をされている方や高齢者の方などが、多くの図書を借りたり返却したりする場合に総合図書館、南部・北部分室のどこでも可能であり、また、3施設の蔵書検索もできるなど利便性の向上が図られ利用者を増やすことができました。今後は、ネットワーク化の周知を推進し、更なる図書館利用者の増加を図ってまいります。

平成24年度の重点施策

5 図書館ボランティアの活用により図書館サービスの充実に努めます。

・おはなし会の実施 (再掲)

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	ボランティアを募り、より開かれた図書館運営を行います。(再掲)
成果指標	登録者数
目標値	10名
成果実績	8名
成果と課題 今後の取組等	おはなし会の読み聞かせボランティアを募集し、8名の参加を得られ充実した活用を図ることができました。ボランティアの方々も、人とのつながりを楽しみながら、おはなし会を実施することができました。しかし、初めての募集であるため町民への浸透が広がらず、目標値には達しませんでした。今後は、おはなし会を含め、書架整理など他のボランティアも募集しながら更なる図書館運営の充実に努めてまいります。

基本方針7 地域に根ざしたスポーツ活動への支援を行います。

(健やかな体づくり)

平成24年度の重点施策

- 6 町民のニーズに応えるための指導者育成や確保を図り、多くの町民にスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供します。
- ・ 体育協会や総合型地域スポーツクラブからの指導者派遣制度の充実 (再掲)
 - ・ 勤労世代が参加しやすいイベントやスポーツ教室の開催

取り組んだ主要事業

事業名	スポーツ支援体制強化事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	総合型地域スポーツクラブとの連携することにより、町民のニーズに合わせたスポーツ活動を進めます。(再掲)
成果指標	町民の要望に応えるため、種目別の指導者を派遣する制度の確立
目標値	制度の確立
成果実績	—
成果と課題 今後の取組等	<p>カヌー指導者講習会を開催することができました。しかし他の種目で指導者としての資格者の把握が出来ていないため、今後は総合型地域スポーツクラブと連携しながら指導者の把握を進め制度の確立を図ってまいります。</p> <p>子育てや介護等でスポーツがしたいのにできない人に対し、スポーツに親しむ環境づくりの一環として、種目別の指導者派遣制度の確立を目指しましたが、種目別指導者の把握も含め、各種団体と制度化までの協議に至りませんでした。今後は、指導者養成講座の実施や各種スポーツの場所等の設定をするほか、町民ニーズを各種団体に伝える等、制度の確立を図ってまいります。</p>

事業名	スポーツ活動推進事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	町民のニーズにあったスポーツ教室や大会等を開催し、すべての町民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供します。
成果指標	参加者が定員を満たす教室数 (弓道、テニス、ボルダリング、卓球教室)
目標値	全教室
成果実績	3教室 (弓道13名・テニス40名・ボルダリング10名)
成果と課題 今後の取組等	4教室の内、弓道、テニス、ボルダリング教室は定員を満たすことが出来ました。しかし卓球教室には20名の応募がありましたが、実際の参加者は17名でした。その年々により参加者が増減することもあります。種目によっては継続しながら普及を進めることも必要です。今後は種目の選定とともに、新たな種目の検討も進め、スポーツに親しむ機会の提供を更に図ってまいります。

オ 円熟期

基本方針8 知恵を伝え、絆をつなぎ合う活動への支援を行います。

(賢く豊かな自分づくり)

平成24年度の重点施策

- 1 還暦式などライフワークや新たな生きがいづくりのきっかけになる事業を実施します。
 - ・還暦式など地域参加のきっかけとなる場の設置

取り組んだ主要事業

事業名	生涯学習振興事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	還暦式など地域参加へのきっかけとなる場を設けるとともに、生涯学習の意識向上を図るため、町民大学など自由に学習活動ができる環境づくりを行います。
成果指標	町民大学メニュー事業の定員に対する参加率
目標値	平成23年度比10%増(平成23年度:63.8%)
成果実績	平成23年度比23.5%増(平成24年度:78.8%)
成果と課題 今後の取組等	<p>町が実施する講座を全庁的に取りまとめ、「さむかわ町民大学」として幅広い学習機会を提供した結果、参加率の増につながり、学習活動ができる環境づくりができました。</p> <p>しかし、平成23年度の公民館に関する無作為抽出のアンケート調査結果からは、寒川町内の公民館利用者は全体の3割となっており、利用者のさらなる増加が課題となっています。公民館講座等を利用していない方々の希望するメニューや開催時間等のニーズ把握が出来ていない部分がありますが、研究、工夫をしながら、より多くの町民が地域での生涯学習活動に参加できるよう努めてまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 2 今までの経験や学習した成果を生かし、地域の生涯学習活動に積極的に参加できる環境づくりを進めます。

・ステップ・アップ（生涯学習人材登録制度）の充実 （再掲）

取り組んだ主要事業

事業名	学習情報提供体制整備事業
担当課等	生涯学習課
事業概要	学習機会を求めている人や自分の技術・技能などを伝えたい人に情報を提供できるよう、その体制を充実し地域の学習活動の活性化を図ります。 (再掲)
成果指標	ステップアップ登録講師による講座開催数
目標値	平成23年度比10%増（平成23年度：8講座）
成果実績	平成23年度比増減なし（平成24年度：8講座）
成果と課題 今後の取組等	<p>寒川町生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」は平成24年度は37名の登録者がおり、制度活用の拡充のために、自主企画講座を募集し、実施しました。目標値と成果実績に増減はありませんでしたが、学習成果を地域へ還元するためにも登録者の実践の場を増やし、講座企画の斡旋や相談体制を整備し、自主的な生涯学習活動が活発となるよう支援していきます。</p> <p>なお、実施した8講座のうち2講座については、自主企画講座を希望する講師を公民館へ紹介し、公民館講座として実施され、公民館と連携した登録講師活用の推進が図れました。</p> <p>各種事業の開催情報をより広く周知し効果的なPRを行うため、「さむかわ生涯学習総合案内」の紙面を工夫する等、さらなる情報提供の充実を図る必要があります。また、人材登録制度には登録講師の自主企画講座だけでなく、今後も公民館事業での活用などの周知を図るとともに新たな講師の登録に努め、地域の人材活用や学習活動の活性化を図ってまいります。</p>

平成24年度の重点施策

- 3 新たな趣味や生きがいにつながるような講座を開催し、地域での活動を支援します。
 ・山野草観察会、初心者ヨガ教室講座の開催

取り組んだ主要事業

事業名	公民館講座開催事業
担当課等	公民館
事業概要	各種講座を開催するとともに、生涯学習の指導者として学習の成果を地域に還元できるような体制を整えます。(山野草観察講座2回、初心者健康麻雀教室、元気な100歳 めざそう体操講座)
成果指標	講座定員に対する参加率
目標値	100%
成果実績	100%
成果と課題 今後の取組等	新たな事業として初心者健康麻雀教室、元気な100歳 めざそう体操講座を加え、3つの講座を実施いたしましたが、初心者ヨガ教室は講師の体調不良により実施できませんでした。初心者健康麻雀教室など定員を遙かに上回る講座もあり、講座として大成功いたしました。山野草観察のためのウォークや体操などの参加者が多いことは健康志向の表れと考えております。今後も継続して健康を意識した講座を開催いたします。

平成24年度の重点施策

4 コンサート、演劇、バレエ、ダンス等より質の高い文化芸術の発表や鑑賞の機会を設けます。

・文化講演会、コンサートの実施 (再掲)

取り組んだ主要事業

事業名	文化振興事業
担当課等	公民館
事業概要	文化講演会など学ぶ機会を充実させるとともに発表の場を提供します。(文化講演会、ふれあいコンサート、古典落語とマジックショー、寒川合唱祭、寒川音楽祭、古典芸能講座、クリスマスコンサート) (再掲)
成果指標	講演会等の定員に対する参加率
目標値	50%
成果実績	51%
成果と課題 今後の取組等	24年度は、古典落語とマジックショー、寒川音楽祭などを加え7事業を行いました。演劇、バレエ、ダンスなどの事業は実施出来ませんでした。今後は計画を立てたものについては、しっかり実施してまいります。 文化講演会の参加者については、毎年少しずつ増えてきております。今後も講演者、講演内容、参加者アンケートなどを参考にしながら参加者を増やしてまいります。また、寒川合唱祭、寒川音楽祭、古典芸能講座などの事業も継続して行ってまいります。

平成24年度の重点施策

- 5 図書館機能を向上させ、図書館利用の促進を進めます。
 ・北部公民館図書室、南部公民館図書室のサテライト化 (再掲)

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	南・北公民館図書室とのサテライト化を行い、利用者の利便性を図ります。 (再掲)
成果指標	サテライト館数
目標値	2館
成果実績	2館
成果と課題 今後の取組等	公民館図書室を総合図書館の分室とし、サテライト化を実施しました。その結果、育児をされている方や高齢者の方などが、多くの図書を借りたり返却したりする場合に総合図書館、南部・北部分室のどこでも可能であり、また、3施設の蔵書検索もできるなど利便性の向上が図られ利用者を増やすことができました。今後は、ネットワーク化の周知を推進し、更なる図書館利用者の増加を図ってまいります。

平成24年度の重点施策

- 6 図書館ボランティアの活用により図書館サービスの充実に努めます。
 ・おはなし会の実施 (再掲)

取り組んだ主要事業

事業名	総合図書館運営事業
担当課等	寒川総合図書館
事業概要	ボランティアを募り、より開かれた図書館運営を行います。(再掲)
成果指標	登録者数
目標値	10名
成果実績	8名
成果と課題 今後の取組等	おはなし会の読み聞かせボランティアを募集し、8名の参加を得られ充実した活用を図ることができました。ボランティアの方々も、人とのつながりを楽しみながら、おはなし会を実施することができました。しかし、初めての募集であるため町民への浸透が広がらず、目標値には達しませんでした。今後は、おはなし会も含め、書架整理など他のボランティアも募集しながら更なる図書館運営の充実に努めてまいります。

基本方針9 体を動かし、健康を保つ活動の支援を行います。

(健やかな体づくり)

平成24年度の重点施策

7 多くの町民に体を動かす楽しさを実感させる大会等の実施やスポーツに安心して取り組むための身体の把握ができる事業を進めます。

- ・レクリエーションフェスティバル、スポーツデー、3B体操の開催
- ・総合型地域スポーツクラブとの連携した体力測定の実施

取り組んだ主要事業

事業名	スポーツ支援体制強化事業
担当課等	スポーツ振興課
事業概要	総合型地域スポーツクラブと連携し、体力や身体の状態を把握するための体力測定を実施します。
成果指標	体力測定参加者数
目標値	300人
成果実績	260人
成果と課題 今後の取組等	6月体力テスト(80人)・12月高齢者体力測定(30人)・1月チャレンジスポーツ(150人)を実施し、自分の体力の状態把握が出来たと思います。また、一つひとつの測定種目を無我夢中で行っている姿を見ますと関心の高い事業であると見受けられます。しかし、毎年開催するためには、施設の確保や協力員の人件費の確保が必要となりますので、今後は町民全体への身体の状態把握や指導等を図る方法を検討してまいります。

V 教育委員会の課題・改善策

教育委員会の課題・改善策

1 教育委員会の活性化の観点からの新しい取り組み

(1) 学習会から調査研究会への転換

3年前に、ややもすると受け身的であった「学習会」を、課題解決に向け教育委員が主体的に議論することを目的として名称を「調査研究会」と改めました。そして、従来は実施してこなかった、以下の新しい取り組みを開始してきました。

- ① 学校経営方針について学校長との意見交換会の開催
- ② 新採用教員との意見交換会の開催
- ③ 各校の学力向上への取り組み
- ④ 他市町村教育委員会との交流懇談会の開催
- ⑤ 教育委員会の点検・評価
- ⑥ 社会教育の今後の方針について

これらの取り組みにより、学校教育、生涯学習ともに実際の運営状況と課題について共通認識を深めることが出来た点は、評価できます。

教育振興基本計画の理念、方針の実現に向けて、具体的な方策、マイルストーン（進捗を管理するために設ける節目）の設定などを公開し、有言実行の形で行動することが重要です。

今後については、教育委員会でさらに深化させた議論を実施してまいります。

(2) 教育委員会定例会における議論の活性化

定例会の中では、平成24年度の重点課題である、学力の向上、防災教育、いじめの問題については、教育長からの報告事項として定め、毎月進捗状況の報告を受けてきました。

教育委員はそれらの事項について、報告を受けて、課題を明確にし、どう解決するか視点で意見を述べることでしてきました。

議論の活性化に向けて、教育委員が意見を交わし、効果に繋がる議論をすることが当たり前文化を作り、そしてその文化を定着させていくことが必要と考えています。

その方向 = 「議論の活性化」にむけて、教育委員一人ひとりが意識して行動してまいります。

(3) 教育委員会として教育長に委任できない役割について

教育長に一任出来ない項目として次のものがあります。

- ・教育に関する基本的な方針の策定
- ・教育委員会規則の制定・改廃
- ・教育機関の設置・廃止

- ・教育委員会の活動の点検・評価
- ・予算等に関する意見等の申し出

この5項目については、既にその責任と役割は果たしています。

このほか、教育委員会事務局及び学校他の教育機関の職員の人事については、今後の課題として慎重に議論してまいります。

2 学校教育

(1) 学力向上の取り組み

喫緊の課題である学力向上については、小学校3年生で35人以下学級編成の実施、補助教材の活用、放課後及び長期休業中の補充学習や、地域のせんせいを講師としての指導を行いました。教職員研修会や寒川学びっ子育成推進事業等を行うことにより、教師の資質向上を図ってきた結果、一定の成果が上がりつつあります。

しかし、基礎力以外について以下の点からの課題があります。

①学力向上の目標値設定とマイルストーンの策定

ア 基礎学力、目標とするレベルを何年後にどのレベルに引き上げるのか

イ 知識・技能の活用・・・各学校で思考力、判断力、表現力の向上については積極的に取り上げているが、その指導を通して児童・生徒の力が向上したかどうかの評価については、今後の課題です。その方法については、教育委員会で研究を進めてまいります。

ウ 学習意欲の向上は児童・生徒の生きる力をつけるために重要な事です。児童・生徒が自ら学び、自ら考える自学自習を大切にした視点で、学習意欲の向上に積極的に取り組んでまいります。

(2) 巨大地震を想定した防災教育の実施について

各学校で防災計画が作成され、避難所としての学校施設の運営について、学校と自治会が連絡を取り合い、マニュアルを作成し、連携が図られてきつつあります。

また、各学校毎に実施してきた地震発生時の児童・生徒の引き取り（出迎え）については、年1回小学校、中学校合同で実施しました。

これにより引き取りが遅れる、引き取りができない等の課題も見えてきたことは成果です。今後の防災の視点で活かしてまいります。

東日本大震災の後、防災対策については、自助・公助・共助の考えに立っていますが、最も重要な、地震発生時に「自らの命は自ら守る」教育について、具体的な着手として、登下校における危険個所の点検とその時の身の処し方について児童・生徒、保護者が考える指導を行うなど、具体的な着手を実施してきた学校もあります。教育委員会としてのリーダーシップを発揮し、巨大地震発生時の対応について、各学校で足並みをそろえた防災教育を実施してまいります。

(3) 地域のせんせい活用について

今、町と一体で進めている「地域のせんせい活用推進事業」については、授業のサポート、補充学習でのサポート指導、放課後の地域のせんせいによる得意科目の個別指導、地域のせんせいの経験談を聞く会等、さまざまな展開を行い、効果が上がっています。

特に、「地域のせんせい」の経験談を聞くことは、児童・生徒の今後の人生の生きる力に繋がって行く素晴らしい取り組みです。

児童・生徒にとって効果の大きな取り組みについては、教育委員会と校長会での議論を踏まえて、児童・生徒を地域と共に育てる視点で、町全体での取り組みへと高めてまいります。

(4) 支援教育の充実

教育委員会では、教育振興基本計画において、町民、保護者、児童・生徒にニーズがある場合、諸条件を検討の上、特別支援学級の開設を基本方針としました。平成24年度にも旭小学校と寒川東中学校に特別支援学級を開設し、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者へのアンケート結果でも特別支援学級での教育については満足との回答をいただきました。しかし、個々の児童・生徒の状況と必要な支援内容は多様であるため、今後とも丁寧な対応が必要です。

あわせて、特別支援学級担任の指導力向上に向けた研修も実施いたします。

また、不登校の児童生徒に対しても、相談指導教室担当教員や各校のスクールカウンセラーとの連携を一層進めるなど、各学校の取り組みが有効に進められるよう教育委員会の支援を強化いたします。

3 生涯学習

(1) 重点施策のPDCA

生涯学習に係る重点施策は、教育振興基本計画に則り、前期3年間で行うもので、1年で必ずしも行うものではありませんが、目標として上げながら実施されずに終わってしまった事業も少なからずありました。

このことは、PDCAのPlan（計画）を策定したが、Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）が実施されないまま1年を経過したということです。PDCAを回すことは、目標を掲げて事業を進めて行く上で、基本的な事であり、反省をしなければなりません。今後については、中間時点で実施状況とその内容についてチェックを行い、必要なアクションは行動に移し、PDCAを回して行く事業の進め方を実行してまいります。

(2) 機構改革に伴う教育委員会の役割変化の対応

寒川町では、平成25年度に、教育委員会は学校教育、社会教育に専念できるよう

機構改革を行い、教育委員会も議論の結果、積極的に賛成の意を表しました。

この結果、スポーツ振興、生涯学習に係る大部分は町長部局により執行されることとなり、教育委員会の役割が学校教育と社会教育となりました。今後、教育委員会は町長部局と連携し、社会教育については、教育委員会としての方針、事業の進め方についての考え方を発信し、町民への理解を進めてまいります。

4 教育環境の変化への対応

(1) いじめ・体罰への対応

いじめは「いつでも、どこでも起こる」ことを前提に、学校・家庭・地域が日頃から連携し、「命」はかけがえのない大切なものであることを児童・生徒に身をもって教えなければなりません。自分の命は勿論のこと、他人の命も大切にすることを育む教育活動を充実いたします。

また、町内においても平成24年12月大阪での体罰事案を受け、体罰の実態把握をし、体罰の認識を改めて行ったことは体罰根絶の第一歩ですが、教育委員会では児童・生徒に誠実に、謙虚に接し、道徳教育を充実し、また体罰の必要のない教育を行ってまいります。

(2) 危機管理情報化時代への対応

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）により世界はインターネット上で瞬時に繋がる時代になりました。児童・生徒がラインアプリを使用し様々な画像を投稿する事件は新聞記事でも目にする所でもあります。

この類の情報サイトは日進月歩で変化しており、投稿禁止の指導のみでは、限界があります。

情報化時代を踏まえ、子どもたちが自ら良否を判断できるよう徳の育成を実施すると共に保護者への現状の正しい認識ができるよう講習会の開催を強化してまいります。

IV 学識経験者の意見等

1 はじめに

周知のとおり、教育基本法が60年ぶりに改正され、新たに生涯学習の理念（第3条）が加わり、国は中・長期的な教育ビジョン（教育振興基本計画）の策定を義務づけ、各自治体にもこれを「定めるよう努めなければならない」と規定されました。そして、当町においても、いち早く幾多の議論を重ねつつ、教育委員並びに事務局スタッフ各位の努力によって、昨年4月、すばらしい教育振興基本計画が策定されたことに先ず敬意を表したいと思います。

2 教育委員会会議（定例会・臨時会）及び教育委員の活動状況について

・平成20年度以降の本報告書に掲載された、寒川町教育委員会の定例会及び臨時会の開催日数、議案、協議事項は年々増加し、さらに「調査研究会」の名称で主体的な議論の積み重ねが見られます。教育委員会が抱える広範多岐にわたる職務が増大し、多様な教育課題にエネルギーを傾注されていることを窺い知ることができます。

・活動状況を読ませていただくと、ほぼ週に一度は何らかの活動に参加されています。中には一日に及ぶこともあるであろうと推察されますが、大変なご苦勞をおかけしていると思われます。実にありがたい事です。

3 教育委員会の平成24年度重点施策について

・第一に関心した点は、事業の成果指標 — 目標値 — 成果実績 — 成果と課題が、実に一目瞭然、わかりやすく整理されていることです。その努力に敬意を表します。国の教育振興基本計画（第2期・平成25年6月14日閣議決定）にも示されているように、取り組んだ主要事業を効果的かつ着実に実施するためには、目標を明確に設定し、成果を客観的に検証し、そこで明らかになった課題等をフィードバックし、新たな取り組みに反映させるPDCAサイクルを実践することが求められます。数値化できない領域について、今後さらに研究開発されることを期待いたします。

・「点検及び評価報告書」を作成するようになってから数年経過していますが、年々

的を得た評価をしていることが多く、それらのことに対して敬意を表する次第です。

【学校教育】

1 児童・生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図ります。

○少人数学級実施事業

事業概要：小学校3年生で35人以下学級編成を実施し、個に応じたきめ細かな指導を展開します。

この事業については、指導者のきめ細かい学習指導等の実現にとって、大変大きな助けとなるものなので、これが3年生まで拡大されたことは、基礎的な学力の定着に繋がるものと確信いたしております。今後も更に上級学年へつなげていくようご尽力いただきたいと思います。

○「生きる力」の育成事業

事業概要：基礎学力の定着度を検証し、補充学習等を実施します。

学年毎に、基礎学力の定着度を数値化しており、学力向上に対する取り組みに工夫が見られます。基礎学力の向上に伴い、応用力が身に付くよう、今後の更なる取り組みに期待します。

○「生きる力」の育成事業

事業概要：「地域のせんせい」を講師にした授業や総合的な学習の充実を図るとともに、「地域のせんせい」を活用して授業や補充学習においてきめ細かな指導を展開します。

・町民の中には、さまざまな職業やボランティア活動、趣味を極められた方で、子どもたちに伝えたいという方がたくさんおられると思います。補充学習や部活動、さらに教科の枠を超えた総合的な学習の中で、ゲスト・コーチまたはゲスト・ティーチャーとして、彼らの貴重な技能、体験や思いを語り伝えていただくことは、きわめて有効だと考えます。この場合、学校側としては、この事業の趣旨や事前指導をきめ細かに行う必要があると思います。

・「地域のせんせい」としては、徳育や体育の分野で幅広く人格形成を養うことが大切であり、今後も継続して「生きる力」と確かな学力を持つ子どもたちの育成に期待します。

○教職員の資質向上事業

事業概要：教員の資質向上のための研修会の充実を図ります。寒川学びっ子育成推進事業の効果的な展開により、教員の指導力の向上を図ります。

個々の教師の指導力を高めるには、基本的に自己研修・自己修養に尽きると思いますが、自主的な校内研修（各学年、各教科別など）は指導力改善・向上に役立つと思います。その点、全町規模での「寒川学びっ子育成推進事業」で、計25回の公開研究会を開催し、目標値をはるかに超えた243人も参加者があったというすばらしい成果に拍手を送りたいと思います。今後、他校の研究会や公開授業への自由な参加を今後も継続されるという教育委員会の決意に大いに期待いたします。

2 震災等への災害対策を進め、防災教育の推進に努めます。

○「生きる力」の育成事業

事業概要：防災教育・情報教育・環境教育・国際教育などを充実させ、時代の変化に対応する力を育成します。

・町内小中学校で一斉に保護者による合同引取訓練を実施し、防災の意識を高め、平成25年度には保育園も含めての合同引取訓練を予定しているとのこと、これは他市町に比べて学校数の少ない寒川だからこそ出来ることで、ぜひ、これを機会に様々な活動を通して、「安心・安全の寒川」を作り上げていってほしいと期待しています。

・平成25年度は合同引取訓練を小中学校合同のみならず、保育園も連携して行う予定とのこと、いざと言う時の想定が具体的になり、大変有意義なことと思います。引き取りが遅れる、引き取りが出来ない等の課題に対しては、学校の防災備蓄や防災グッズ（ヘルメット）などの必要性を課題とし、更に進んだ

防災教育を実施いただくよう、お願いいたします。

3 支援を必要とする児童・生徒のニーズに応じた教育環境を整備します。

○特別支援教育推進事業

事業概要：特別な支援を必要とする児童・生徒のニーズに応えます。

平成20年度まで特別支援学級は小学校1校、中学校1校のみに開設されていたが、平成24年度をもって中学校3校にそれぞれ特別支援学級が開設され、これで地域の学校に通学させたいという親のニーズに答えたこととなります。

ただ心配な点は、教える側の教師の数は十分なのかということです。授業の補助だけでなく、食事、着替え、トイレ等の補助も行い、児童・生徒の学校生活を効果的に行うためには、一人でも多くの手が必要です。

ぜひ、人の配置という点についても、ご尽力いただきたいと思います。

○教育相談事業

事業概要：不登校児童・生徒への支援を行います。

「不登校ゼロへの挑戦」をテーマに、相談指導教室などオルタナティブ教育^{*}的な実践をされ、努力されておられることがわかりました。しかしながら、町内にはほとんど学校には行かずに自宅に引きこもってそのまま卒業してしまう生徒や、登校を渋って短期または長期にわたって不登校状態にある児童・生徒が依然として存在し、その子の保護者は大変困っている事例を耳にします。基本的な人権に関わる問題であり、一層の相談指導体制の充実を期待いたします。

*学校教育法等の法的根拠を有さない非正規の教育機関とそこで実施される教育

【生涯学習】

生涯学習について、我が国が新たな社会モデルとして目指すべきは、「一人ひとりが生涯にわたって能動的に学び続け、必要とするさまざまな力を養い、その成果を社会に生かしていくことが可能な生涯学習社会」であるという指摘（国教育振興基本計画）は、寒川の生涯学習を考えるヒントになるかと思えます。

イ 青少年期

7 青少年が主体となる事業を実施します。

○公民館講座開催事業

事業概要：子どもフェスティバル等青少年と地域の方々が交流する場を設けます。(北部公民館・夏休み子どもフェスティバル、南部公民館・クリスマス広場、町民センター・子どもサイエンスフェスティバル)

児童・生徒の「理科嫌い」もしくは「理科離れ」が全国的に問題になっています。科学技術立国日本を自負する国としては、特別の施策を講じるべく努力している中、平成24年度から始まったこのイベントの意義は高く評価されます。400名の参加で町民センターが満員の盛況という成果を受けて、次年度もぜひ魅力ある企画を立案し、この熱気を持続していただければ、寒川の明日の科学教育に明るい光が注がれると確信いたします。

ウ 伸長期

1 青年たちが参加しやすい生涯学習の機会を設け、地域の仲間づくりを進めます。

○生涯学習振興事業

事業概要：PTA指導者研修会など成人期を対象とした事業を実施し、学ぶ機会を広げるとともに、仲間づくりを進めます。

各校PTAに対し、学習の場を提供するために、毎年研修会を実施しており、平成24年度も実施したところ、各校のPTAの役員から大好評を得たと聞き及びます。特に初めて役員になられた方々には、大変有難い研修会だったようです。今後もPTAの役割の重要性などを取り入れるなど、研修の質的向上を目指していただきたいと思います。

2 成人式の記念事業を新成人等により組織する実行委員会形式とし、自らが式の企画や運営にあたることにより、自立と共生の精神を育みます。

○成人式開催事業

事業概要：「祝ってもらう」から「自ら祝う」式へ転換し、自立と共生を学ぶ機会とします。

成人式は、成人式実行委員会が若者に自立、自覚を学ぶよい機会となるよう開催したようですが、ほぼ目的どおりの記念式典となったようです。まだまだ課題は多いようですが、全国に誇れる寒川の伝統的行事を後輩たちに伝えてほしいと思います。

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(平成24年度対象)

平成25年8月発行

編集・発行 寒川町教育委員会
〒253-0196
神奈川県高座郡寒川町宮山165番地
電話 (0467) 74-1111 (代表)